

1 目的

この仕様書は、公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構(以下「当機構」という。)が令和5年度に静岡県医療健康産業研究開発センターに新設する開發生産B棟西側物品倉庫(以下「倉庫」という。)の仕様について、必要な事項を定めることを目的とする。

2 概要

- (1) この倉庫は、内部に収納棚（別途調達）を置き金属部材等を収納保管するための用途で、通り抜け可能な前後面シャッター、照明器具、100V電源コンセントを有するものとする。なお、車両による進入は想定していない。
- (2) 倉庫は、参考品としてイナバガレージ VGC-2652H型 2連棟（建築面積26.37 m²=7.98坪）、1棟の寸法(外寸)は、間口 2,652mm、奥行き 5,220mm、高さ 2,589mm(水下高さ 2,396mm)とする。
なお、同等品以上のガレージ・倉庫で見積りをする場合は、カタログ等を持参のうえ、入札日3日前までに施設部担当者の承認を得ること。
- (3) 本仕様書に明記されていない事項については、参考品の標準仕様によるものとする。
なお、受注後、本仕様書に疑義又は変更が生じた場合は、その都度当機構の指示を受けること。

3 適合法令

倉庫は次に掲げる法令、その他関係ある法令等に適合するものであること。

- (1) 消防法
- (2) 建築基準法
- (3) 電気工事士法

4 契約

- (1) 契約に当たっては、この仕様書を了承し不明な点は、発注者に確認し充分熟知の上、契約するものとする。
なお、契約後において生じた一切の疑義は、すべて当機構の指示に従うものとする。
- (2) 受注者は、この仕様書に基づく製作が安全かつ強固に製作できるよう事前検討し、遺漏のないよう確認すること。
- (3) 契約後、受注者は当機構と十分な打合せを行うこと。

5 提出書類

- (1) 契約後、速やかに次に掲げる図書等を2部提出し、当機構の承認を得ること。
 - ア 施工工程表
 - イ 外注先一覧表
 - ウ その他当機構が指定したもの
- (2) 納入検査終了後、次の図書等を提出すること。
 - ア 取扱説明書

- イ 保証書
- ウ 付属品(鍵はスペアキーを含め、各 4 個以上)
- エ 工事写真
- オ 材料品質を証する書類(基礎工事・土間工事における鋼材・コンクリート)
- カ その他当機構が指定したもの

6 外注先の監督

施工上、他の業者に外注する場合は、この仕様書の内容を満たすよう当該業者を監督すること。

7 建築確認

建築基準法第 6 条に基づき必要となる建築確認申請の手続き等については発注者が行う。受注者は、発注者が別に選任する工事監理者の指示のもと適切に工事を行うこと。

8 完成検査

仕様書及び関係書類に基づき、納入時完成検査を実施するものとする。

- (1) 検査は工事監理者立会いのもと、当機構の指示に従って受けること。
- (2) 検査における指示事項は、当機構の指示する日までに修復又は交換等を完了させること。
- (3) 検査に要する費用は、受注者の負担とする。

9 補則

- (1) 施工にあたり、作業時間は平日午前 9 時 00 分から午後 4 時 30 分までとする。

ただし、発注者の許可を得た場合はこの限りではない。

- (2) 納入後、倉庫に製作上の不備により生じた故障又は破損等については、メーカー 保証期間中は、受注者が無償で修理するものとする。

なお、メーカー保証期間を経過した場合においても、重大な製作上等の瑕疵によって生じた故障又は破損等は、受注者が責任をもって無償で修理するものとする。

- (3) 発生するアスファルト、廃材等は適正に処分し必要書類を提出すること。

10 施工場所

駿東郡長泉町下長窪 1002 番地の 2 静岡県医療健康産業研究開発センター敷地(別紙図面参照)

11 物品倉庫仕様(参考品を例とする)

- ✓ 軽量鉄骨造 : ブレース構造、平屋
- ✓ 屋根材 : ガルバリウム鋼板 折り板ルーフ 0.5 mm
結露低減材付
- ✓ 壁材 : ガルバリウム鋼板 0.5 mm
- ✓ 倉庫全体を白色系とすること。
- ✓ 本体の構造は、振動、衝撃、風雨に十分な耐久性、安全性を有すること。

- (1) 出入口は、棟ごとにシャッター(鍵付、手動式)とすること。
- (2) 後面にも出入口を設け、棟ごとにシャッター(鍵付、手動式)とし、人の通り抜けが可能とする。
〈参考：ヨドコウガレージオプション 後面シャッター間口 26 タイプ〉
- (3) シャッターはガルバリウム鋼板 0.5mm でカラーはメタリックグレーとし、それぞれに巻き上げによる雨水の侵入防止のためのケースを設けること。
- (4) 連棟、後面シャッターの仕様に必要とされる中枠補強などの部材に漏れないようすること。
- (5) 倉庫内の梁に 4,000 ルーメン以上の LED 照明器具を棟ごとに 1 台設けること。
スイッチは、指示する出入口付近の柱に床面から概ね 1,300 mm の位置が器具の中心となるよう設けること。
- (6) 倉庫内に二口コンセントを 1 箇所取り付けること。
取り付け位置は、指示する柱に床面よりコンセントの中心が概ね 300mm の位置とする。
- (7) 電源については、開発生産 B 棟南西角付近の外電源口から引き込み配線すること。
- (8) 配線用遮断機は東南側に床面から概ね 2,000 mm の位置が器具の中心となるよう設けること。

12 基礎及び土間コンクリート工事

- (1) 構造詳細は施工図面によること。
- (2) 布基礎及び土間に使用するコンクリートの配合強度は 21-8-20BB とする。
- (3) 設置施工後、アスファルト舗装切断部分との隙間を復旧させること。
- (4) 土間と現状地盤との高低差を生じないようなレベルとし進入を容易とすること。
- (5) 倉庫内に、雨水が流入しないよう考慮すること。

13 引渡期限

令和 5 年 7 月 31 日 (月)

14 その他

本工事においては、予定価格のもととなる工事費内訳書から単価及び金額等を削除するなどの加工・編集したもの(以下「数量書」という。)を参考資料(参考数量)として提供します。

数量書は、入札参加者等の積算の効率化を図ることを目的に参考資料(参考数量)として提供するものであり、設計図書ではありません。

入札等の際には、設計図書(図面及び仕様書等)に従い積算してください。